

有害鳥獣捕獲状況等について

令和5年12月末時点における、有害鳥獣の捕獲状況等について報告します。

1. 有害鳥獣捕獲数

【単位：頭、羽】

種 別		R2年度	R3年度	R4年度	12月末現在	
					R4年度	R5年度
シカ	出雲北山山地	362	379	390	318	335
	湖北山地	442	482	396	292	321
	その他地域	8	18	42	27	48
イノシシ		1,828	1,445	1,645	1,369	1,189
ヌートリア		1,314	962	755	540	450
アナグマ		462	260	422	380	216
その他獣類		390	247	362	212	178
カラス		837	1,020	1,212	1,119	984
スズメ		483	242	211	211	455
その他鳥類		84	105	42	20	25

●その他獣類：タヌキ、ハクビシン、イタチ、テン、アライグマ等

●その他鳥類：オオバン、カモ等

2. 鳥獣別被害額

【単位：千円】

種 別	R2年度	R3年度	R4年度	12月末現在	
				R4年度	R5年度
シカ	258	392	708	696	277
イノシシ	2,526	4,011	2,545	2,545	3,097
ヌートリア	187	0	0	0	131
その他	1,069	93	26	18	62
合計	4,040	4,496	3,279	3,259	3,567

●出典：島根県農業共済組合有害鳥獣被害状況調査
シカ被害対策巡視員による被害状況調査

●R2年度その他：スズメ、サル、オオバン、R3年度その他：スズメ、カモ
R4年度その他：ドバト、R5年度その他：カラス

3. 出雲北山山地及び湖北山地のシカ推定生息頭数の推移（ベイズ法）

（ ）：ベイズ中央値 【単位：頭】

山地名	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
出雲北山	634 ~ 1,699 (1,035)	574 ~ 1,786 (1,011)	479 ~ 1,993 (1,015)	442 ~ 1,979 (963)
湖北	793 ~ 1,359 (988)	577 ~ 1,187 (797)	324 ~ 1,036 (596)	258 ~ 927 (510)

● 「ベイズ法」

平成12年から令和4年までの区画法によるシカ発見数、シカの糞の数、夜間のシカ目撃数（ライトセンサス調査）など複数の生息密度指標と捕獲頭数を用いて算出した生息頭数推定計算式に、令和5年の調査で得た複数の生息密度指標と捕獲頭数を入力、分析によって令和5年の生息頭数を推定。